

土蔵の宿処「越」の紹介

「越」は印章店「博可堂」を開いていた井波家を長男が2023年1月に購入し、昭和9年に撮影された井波家の写真をもとに、2024年に7ヶ月かけて修復したものです。裏にある土蔵については2027年に修復する予定です。この家は、明治38年(1905年)建造されたもので、山町筋伝統的建造物群保存地区を構成する伝統的建造物に指定されています。

高岡市山町筋伝統的建造物群保存地区は、近世初頭に建造された城下町の骨格を残しながら、明治33年の大火後、防災を主眼とした当時の都市計画の記念碑であり、重厚かつ繊細な意匠をもつ土蔵造り等の伝統的建造物が建ち並び、特色ある歴史的景観が形成されているので、高岡市が保存しているものです。そして、2000年12月に文化財保護法に基づく重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。これにより、高岡市が行う修理・修景事業等に対して、文化庁や富山県教育委員会による指導・助言、事業費補助、税制優遇措置等の支援が行われています。

2024年8月15日現在、重要伝統的建造物群保存地区は、106市町村で129地区あり、約30,680件の伝統的建造物及び環境物件が特定され保護されています。そして、山町筋には46件の伝統的建造物があります。



図1 修復前の越(井波家)



図2 昭和9年(1934年)の井波家(博可堂)



図3 大正時代の山町筋